

通常診療再開のお知らせ

以前より当相模原病院は新型インフルエンザ等の患者さまの受け入れを行っており、今般の新型コロナ発生に際しても、令和2年1月末に新型コロナ対策本部を立ち上げ、疑似症例を含めた新型コロナ患者さまの外来、入院の受け入れをすることとしました。

当院は相模原市の2次救急輪番を担当していますので、来院時に新型コロナの診断がついていないことが大半であります。従来から行っていた感染症の標準予防策をICT（感染対策チーム）中心に再度徹底するためにマスク、ガウン、アルコール消毒などの充分量の入手と院内での抗原、抗体検査を可能にすべく、検査機器の導入を行いました。また、同時にPCR検査委託の契約も結び、現在まで約1000件のPCR検査を行っています。実際に新型コロナ陽性患者さまの入院は完全隔離した専門病棟での個室管理にて2月6日より受け入れられています。

当院では肺炎疑いなどの新型コロナ陽性を疑うような患者さまを含めた救急患者さまの受け入れを以前と同様に行っておりますが、現在まで患者さま、職員を含め院内感染は1例も生じていません。4月にはLAMP法による（新型コロナウイルス）RNA検出検査と、血液での抗体検査も院内、短時間で可能となりました。連休中の5月1日には第2外来に続く廊下に接続する場所に、プレハブ4棟による急患個室を設置し、現在そこで、当院で行う手術患者さまの術前における検査として、院内導入したLAMP法を追加スクリーニングを行っています。この検査の結果は当日のうちに患者さまに電話でお知らせしています。さらに5月より外来トリアージシートによるスクリーニングを開始し、6月からは病院玄関にて新患及び予約外の患者さまにはそのトリアージシートと発熱チェックによるトリアージを開始しています。このことにより少々外来患者さまにはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが皆様の安全のためとご容赦ください。

この様に当相模原病院は新型コロナを含めた感染症に対して万全の態勢で対処しておりますので、外来・入院ともに、従来と変わらず安心して皆様に来院していただけることをお約束いたします。

相模原病院 院長

金 田 悟 郎